**審査員特別賞　「ワヤンというインドネシアの文化」**

モハマッド コドリヤン アクマル　さん　（インドネシア）

皆様こんにちは。はじめまして。インドネシアから、アクマルと申します。5か月ぐらい日本に住んでおります。はい、よろしくお願いします。

私は、初めて日本語のスピーチコンテストを参加しております。今回は、インドネシアの文化であるワヤンを皆さんに紹介したいと思います。

ワヤンはインドネシア固有の芸術でございます。ワヤンはスナン・カリジャガさんによってはじめてジャワ島に到着しました。

スナン・カリジャガさんはイスラム教を広めたワリサンガの守護者でございます。

ワヤンの哲学を皆さんに伝えると思います。ワヤンは、影という言葉からきております。

影をとおして人形を見せること意味でございます。

ワヤンにはいくつかの種類があります。

例えば私が持ってきたは、ワヤンゴレックです。

ワヤンゴレックは木を彫って作られております。次に典型的なワヤンの服をペイントして使いました。

このワヤンだけじゃなくて他のワヤンがまだあります。

2002年にユネスコによって正真正銘のインドネシアの世界遺産とみなされております。

ですから11月7日は世界ワヤンの日と定められております。

インドネシアでもし誕生日や結婚パーティーがあれば、ワヤンはよく上演されております。

皆様、このワヤンのやり方を皆様に紹介したいと思います。ちょっとワヤンの歌を聞いてお願いいたします。

～ワヤンの歌～

はい、以上です。

もしワヤンがあればこの歌はよく使います。

本日の機会をいただきどうもありがとうございました。